

CONTENTS

地域発NEWS	1~4
国有林野所在市町村の魅力紹介	5~6
特集コーナー	7
使える！ 行政情報&	8
研究・技術の参考情報	
地域のこの人	9
東北森林管理局の管内で	10
予定されているイベント情報	



江戸時代初期までは、月山・羽黒山と並ぶ出羽三山の
一山に数えられた標高1,462メートルの霊峰です。

葉山（山形県寒河江市より撮影）[提供：山形森林管理署]

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

きれいな北上川を維持するために

岩手

岩手北部森林管理署

岩手県八幡平市には、旧松尾鉱山があります。八幡平の中腹に位置するこの鉱山は大正時代より硫黄を生産し、一時は「東洋一」と呼ばれるほどの生産量を誇りました。しかし、戦後経営難により採掘が終了し閉山すると、鉱山跡地から強酸性水が北上川の上流に流入し、川が赤く濁るなど大きな社会問題となりました。

このような状況を受け、北上川の清流化を望む声が高まり、昭和47年から国が暫定中和処理をし、更に岩手県が鉱山からの強酸性水を中和させる新たな処理施設を昭和56年に完成させたことにより、北上川は清らかな流れを取り戻しました。新中和処理施設は、鉱山からの大量の強酸性水を24時間365日処理し、北上川の清流を保っています。

当署管内の国有林内には、この新中和処理施設が設置されており、周辺の国有林では岩手県と「松尾鉱山跡地における森づくり及び体験活動に関する協定」を締結し、岩手県職員や市民団体に

より植栽による森の再生活動が実施されています。

当署では引き続き岩手県ほか関係機関と連携し、きれいな北上川を維持する取組に貢献していきたいと考えています。



森の再生活動の様子

地域特性に適した森林づくりに向けて

青森

森林技術・支援センター

当センターは、東北地方の地域特性に適した森林づくりの技術開発等に取り組むため、東北森林管理局管内（福島以外の東北5県）の国有林野を活用して試験地を設定し、各地域にある研究機関等の協力を得て、今年度は以下の調査を実施しています。

- 1 「青森ヒバ」について、択伐・間伐した前後の林内環境について調査
- 2 下刈等で省力化が期待される「コンテナ大苗」について、多雪地域に植栽して調査
- 3 恒常的に不足しているカラマツ苗木について、安定的に苗木を生産することが可能な「挿し木コンテナ苗」を東北地方で植栽して調査
- 4 短期間で収穫することができる「早生樹」として注目されているコリノキについて、植栽して調査

これらの調査結果については、分析し取りまとめ、森林管理局及び林野庁で開催される委員会等で報告した上でホームページ等でも公開していきます。

また、令和6年度でも継続する調査課題については、新年度早々に現地調査等を開始し、今後も東北地方に適した森林づくりに向けた取組を進めていきます。



下刈省力化が期待されるスギコンテナ大苗

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

大曲支援学校せんぼく校での里山活動

秋田

秋田森林管理署

当署は、「仙北市」、「NPO法人角館里山再生プロジェクト」と「遊々の森協定」を締結し、平成30年から、秋田県立大曲支援学校せんぼく校での里山活動の推進に取り組んでいます。昨年度までは、仙北市角館町にある外ノ山国有林を拠点に紅葉した落葉やどんぐりを拾ったり、キノコの収穫をしたりなど里山での活動を行っていましたが、今年度はクマの出没が多いため、校舎前での活動としました。



種子の運ばれ方を学習している様子

森林教室では、樹木などの自分で動けない植物はどうやって子孫

を増やすのか、クイズ形式で学び、その後、実際に折り紙でラワンやニワウルシの種子の模型を作り、高く放り上げて飛ばし、種子が風に乗って運ばれる様子を確認しました。続いて、アート制作



オリジナリティ溢れるアート制作

として、事前に採取した様々な樹種の葉や木の実などから気に入ったものを選び、台紙へ貼り付けて絵を描き加えるなど、生徒たちはオリジナルアート作品を完成させました。

今後も「遊々の森協定」を通じて、国有林のフィールドの提供や森林環境教育に取り組んでいきます。

ナラ枯れ先端地域の被害拡大防止の取組

青森

青森森林管理署

ナラ枯れとは、カシノナガキクイムシが運ぶ「ナラ菌」により、ナラ類が集団で枯れる木の伝染病で、近年全国的に被害が拡大しています。

青森県内では平成22年度に深浦町大間越で初めて確認され、令和2年度に急速に被害が拡大しました。令和3年度及び4年度では既存被害発生市町村以外での新たな被害は確認されていなかったところですが、令和5年には新たに青森市及び平内町の民有林で被害が確認されました。

当署ではこれら被害発生の一報を受けて、直ちにその周辺の国有林を点検し被害が発生していないことを確認しました。

ナラ枯れ被害の早期発見には、被害を受けた多くのナラ類の葉が赤茶色に変色する7月から8月に、空中からドローンで巡視することが有効であるため、当署管内の被害の先端地域及びその周辺地域の巡視に重点的に取り組む考えです。また、

万が一の被害発生に備え、青森県林政課が開催した防除技術研修会にも参加したところです。



被害発生に備え防除技術研修会に職員が参加

ナラ枯れ被害対策については、引き続き、地元関係機関と連携を取りながら、情報交換等を行いつつ、今後、当署管内の国有林で被害が確認された場合には、早期に駆除し、被害拡大防止に努めます。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

蜂刺され予防と備え

秋田

米代西部森林管理署

みなさんは「エピペン」をご存じですか？

私たち森林管理署の職員は、蜂刺され被害に対して様々な対策をしていますが、そのうちの一つにエピネフリン自動注射器（通称エピペン）があります。

蜂に刺されて呼吸困難等の強いショック症状（アナフィラキシーショック）が出た場合、病院に搬送されるまでのわずか数分で死に至る事がありますが、エピネフリンという薬を注射することでショック症状を緩和できます。



患部から毒を吸引して体外へ出す
ポイズンリムーバーとエピペン

医師の指導を受けると基本的には誰でも購入でき（体質によっては医師の許可が下りない場合もあります）、アレルギー物質によるアナフィラキシーショックに対して有効なので、請負事業体にも携行を促しています。

当署では、令和5年8月に職員が蜂に刺される被害が発生しました。幸いにも、エピペンを使用するほどの強いショック症状は出ませんでした。2日間にわたって痛みと腫れ、じんましんが発症し、病院で点滴治療を受けることになりました。

みなさんも春になると山登りをする機会も増え、蜂に遭遇することもあるかと思えます。蜂に刺されないための予防策としては、①服装は黒色を避け、白色系にする、②化粧品や香水など匂いのするものはつけない、③巣や蜂に近寄らない、④蜂が近くにきても振り払わず蜂が去るのを待つ、という4つです。蜂刺され対策をした上で山登りを楽しんでください。

木材安定と担い手「地域の川上から川下へ」

青森

三八上北森林管理署

私たちの国有林では、成長して大きくなった木を立木のまま売る事業があります。これを一般的に「立木販売」といい、基本的に一箇所あたり1～5ha程度で販売を行っています。

これとは別に、国有林のエリアを大きく指定し、その中で立木を採取してもらう「樹木採取権」という制度があります。

当署においては、令和4年から令和12年3月までを採取期間とし、採取可能面積は東京ドームの約31個分の143haを現在、青森県森林組合連合会と協定を結んでいます。

「樹木採取権」は、その区域の立木を採取できる権利のことで、例えば漁業権や鉱物権と同じく「物権」とみなしており、権利料やその立木の価値を樹木料として国に納めると、その樹木を取得できるものとされています。

国有林では樹木採取権により採取された木材が、国有林の川上から、その地域の裾野（川下）の製材業（地場産業）で有効に活用され、国産材の利用拡大とその地域の振興に寄与することを目的として、この制度を展開しています。

併せて、同流域で伐採等の事業を長期的に見通せることから、新たな機械導入や、林業労働者の雇用確保の進展につながるものと考えています。

今後も国有林野事業として安定した木材供給をし、地域に貢献していきます。



樹木採取権設定区域内の伐採箇所

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

砂丘造成と海岸防災林が持つ機能

山形

庄内森林管理署

庄内海岸林は、北は遊佐町吹浦から南は鶴岡市湯野浜までの延長約34kmに及び、庄内地域の人々の生活や農業を守っています。

その長大な海岸林の持つ機能は、①樹木の幹や枝が衝立ついたてのような役割をして風力を弱める効果、②フィルターの役割をして海風の塩分を捕捉する効果、③樹木や植生などによって海岸の砂地を覆い、風で砂が飛ぶのを防ぐ効果など、地域の生活環境の保全に重要な役割を果たしています。

当署では、この防災林としての効果を十分発揮させるために海岸林の保育作業はもとより、最前線部における砂丘造成も行っています。

砂丘造成とは、砂丘部の地形を整え、海からの風力を弱めて、均一化を図ることによって、飛砂を軽減し砂地を安定させ、後方の植栽木の正常な生育を助けることを目的としています。このように最前線には砂丘、その後方には海岸林があり、一体となって庄内平野を守っています。



最前線部における砂丘造成工

ここ庄内海岸林は長い歴史があり、飛砂や洪水で苦しんだ18世紀頃から本格的に植林に取り組み、長年の努力で形作られた海岸林で、先人から引き継いだかけがえのない遺産です。これからも海岸林に思いを寄せ、大切に管理していきます。

「高国秋田杉」の魅力

秋田

米代東部森林管理署

天然秋田杉は「日本三大美林」の一つとして、大きな知名度と有用性を持っています。しかし、戦後の復興や経済成長時の木材需要への対応により蓄積量を減らして、平成24年度には計画的な供給を終えました。

そこで、東北森林管理局では令和4年度から、天然秋田杉の代替品となる高齡級国有林高品質材まるこうまるこく「高国秋田杉」を生産しています。高国秋田杉は林齡が80年生以上のブランド材であり、その中でも、林齡が100年生を超える希少かつ優れた木材を重点的に市場へ出品しています。

秋田杉は、寒冷地で育つことで木目がきめ細くなり、木材にしたときに美しい材になる特徴があります。これがさらに高齡級の秋田杉となると、より木目が細くなり、美しく強度のある木材になるという魅力があります。



高齡級秋田杉 原木市場

高齡級秋田杉の木材は、優秀な建築用材として利用されるだけでなく、天然秋田杉を使用していた秋田の伝統工芸品にも使用されており、地域の伝統を守り、活性化に努める一助となっています。

今後とも高齡級秋田杉の知名度と利用拡大、そして地域の活性化につなげられるように、安定的な供給とPRに取り組んでいきます。

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

岩手



くのへ ぐん ひろ の ちよう
岩手県九戸郡洋野町

三陸北部森林管理署久慈支署

洋野町は、岩手県沿岸北部に位置する人口約15,000人の町です。

平成18年1月1日に沿岸部の種市町と、隣接する内陸部の大野村が合併して誕生しました。

沿岸部の種市地区は、本州随一の水揚げ量を誇るキタムラサキウニの名産地として有名です。天然の生け簀で約4年かけて育つウニは、大ぶりの身と濃厚な味わいが特徴で、生で食べるなら夏が旬ですが、焼きウニなど加工品は一年中楽しめます。



ウニの増殖溝、殻付きウニ、生ウニ丼 (写真提供: 洋野町)

一方、内陸部に位置する大野地区は、「大野海成段丘」とよばれるなだらかな丘陵地帯で、「ゆめ牛乳」に代表される酪農が盛んな地域です。



広大な放牧地、ゆめ牛乳 (写真提供: 洋野町)

また、旧大野村では酪農以外の雇用の場が少なく、出稼ぎ労働者が多かったため、1980年に雇用の場確保のため、「一人一芸の村」づくりを提唱し、村

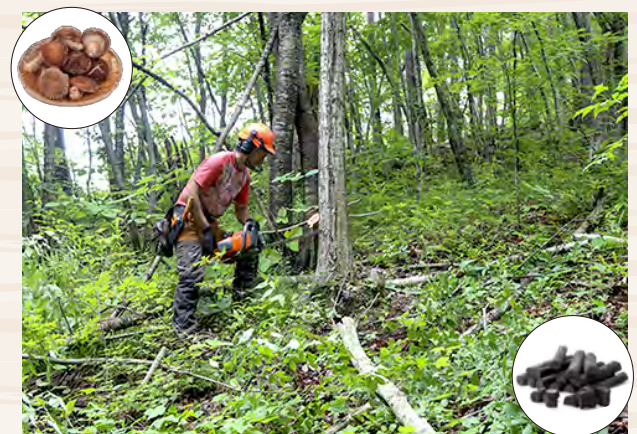
民が木工品や工芸品作成に取り組んできました。

道の駅「おおの」に接する「おおのキャンパス」内は、様々な体験施設があり、工芸体験工房では木工や裂き織り、陶芸体験ができる他、食堂や宿泊施設、入浴施設、パークゴルフ場など様々な施設が集まっており、学ぶ・創る・遊ぶ・食べるを体験できます。



おおのキャンパス、大野木工食器セット (写真提供: 洋野町)

このほか、広葉樹のナラ林が豊富で、原木しいたけ栽培や製炭が盛んに行われています。風味豊かな茶花どんこは全国でもトップクラスの品質を誇り、全国乾椎茸品評会でも多くの上位入賞を果たしています。



森林施業風景、原木しいたけ、岩手木炭 (写真提供: 洋野町)

また、日本一の生産量を誇る岩手木炭（黒炭）は、火付きの早さ、火力の強さ、火持ちの長さが魅力で日本地理的表示（GI）認証を取得しています。

海と高原・工芸を満喫できる魅力いっぱいの洋野町にぜひ遊びに来てください！

お問合せ先：洋野町農林課 Tel. 0194-77-2113

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

秋田

秋田県雄勝郡東成瀬村

秋田森林管理署湯沢支署

東成瀬村は秋田県南東部にあり、栗駒山・焼石岳等の奥羽山脈から連なる山地に囲まれ、美しい景観、豊かな森林と水環境に恵まれた生活空間が残されています。

ホタルやオオムラサキが飛び交い、世界的にも稀有なキタオウサンショウウオが産卵する環境があります。トレッキングできるスポットが多数あり、山の様々な姿を楽しむことができます。

散策したあとは栗駒山荘での露天風呂がおすすめです。紅葉の木々があたり一面に広がる大パノラマは圧巻です。また、夜になると空から降り注ぐような満天の星空が間近で楽しめ、シーズンを通じて多くの人で賑わっています。



栗駒山荘

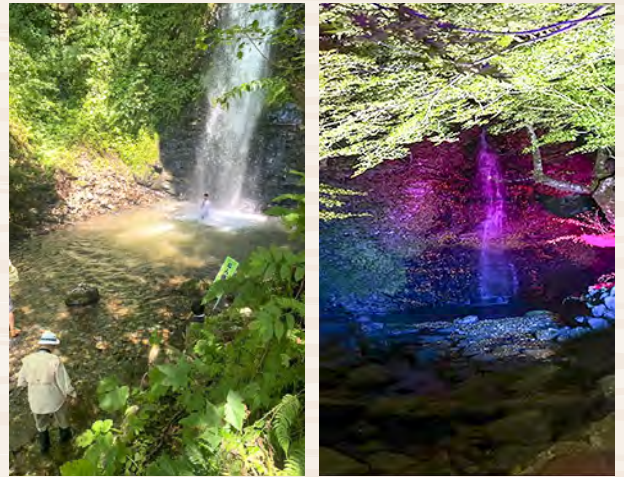
須川湖は、別名「朱沼」とよばれ、周囲をブナ林に覆われた美しい湖です。PH3.2~3.6と酸性度が



須川湖

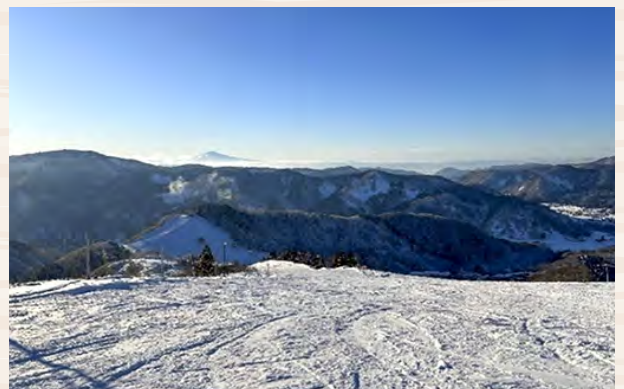
高く、天気の良い日には瑠璃色に青く照り輝き、ブナやカエデ、ナナカマドなどの黄や赤、キタゴヨウマツの緑の色彩を映す美しい湖面は驚く程の透明度を誇り、四季折々の美しい山並みを映し出します。不動滝は、『ホタルの里公園』内にある不動滝。山の果てから流れてきた川が目前で大きくうねるダイナミックな景観と緑美しいせせらぎは日本の原風景を感じさせます。

夏の恒例行事「仙人修行」で行う滝行の舞台となっているほか、10月頃にはライトアップが行われ、幻想的な風景を楽しむことができます。



不動滝

冬には、村内のジュネス栗駒スキー場でウィンタースポーツを楽しむことができます。初級から上級まで、あらゆるレベルに応じたコースを備えています。最長コースでのんびり滑ったり、キッズエリアでそり遊びをしたりできるので、家族連れにもおすすめです。



ジュネス栗駒スキー場

お問合せ先：東成瀬村役場 Tel.0182-47-3401

令和5年度森林・林業技術交流発表会の開催 (その1)

技術普及課

1月31日～2月1日の2日間、東北森林管理局大会議室を会場に「令和5年度森林・林業技術交流発表会」を開催しました。この発表会は、森林・林業・木材産業の活性化等を推進するための諸課題に対する様々な取組について、関係者が情報提供や意見交換等を行い、技術の普及・向上及び交流を図ることを目的として、毎年開催しています。

「一般の部」と「中学・高等学校の部」合わせて41課題の発表があり、延べ400名が会場で聴講されるなど、熱気と活気に満ちた発表会となりました。

ここでは、各部門別の主な受賞課題の概要を、講評を交えつつ、2回に分けて特集します。

◎一般の部

【森林技術部門】最優秀賞

『豪雨災害により発生した流木の有効活用について』
青森森林管理署 長山さん

令和4年8月に発生した豪雨による山地災害の緊急応急工事にあたり、大量に堆積した流木の処理費用が大きな問題となったことから、従来は、産業廃棄物として扱われる流木をバイオマス燃料として有効活用できないか検討した結果、石を含む根株処理方法の確立と、受け入れ先の確保により、処理費用の大幅な低減が図られたとの発表がありました。

審査員からは、近年、気候変動による山地災害の多発化、激甚化が問題視されており、災害で発生した材の活用を検討する機会の増加が想定されることから、先行事例となりうる点が高く評価されました。

【森林ふれあい・地域連携部門】最優秀賞

『育てて、守って、森林づくり～カードゲームが拓く森林環境教育～』

三陸中部森林管理署 鍵谷さん、谷澤さん



森林技術部門
最優秀賞 長山さん



森林ふれあい・地域連携部門
最優秀賞 谷澤さん、鍵谷さん

森林環境教育の新たなツールとして、子供達に主体的・対話的に森林づくりを楽しく学んでもらえるカードゲーム「ZORING」（ゾーリン）を開発し、森林・林業学習と組み合わせた普及啓発を進めた結果、多くの参加者から、地拵から主伐までの森林づくりの手順を理解し、一本の木が育つまでの大変さを知ったとの感想が寄せられたほか、教育機関や自治体、報道機関等から多くの反響があったとの発表がありました。

審査員からは、森林の機能や森林づくりに関わる作業が広く盛り込まれたゲームを、自ら考案・デザインされている点、遊びながら主体的な学びが促されるという点が高く評価されました。

【森林保全部門】最優秀賞

『水源林造成地におけるシカ防護柵（ブロックディフェンス）設置効果について～大規模山火事跡地の普及再生に向けた取組～』

国研）森林研究・整備機構 森林整備センター
盛岡水源林事務所 小川さん

平成29年に起こった大規模山林火災跡地の森林再生・復旧において、苗木植栽時の二ホンジカ防除対策が必須となる中、岩石地などの防護柵設置困難箇所や、管理コストの掛増しなどの課題があったことから、獣道を残存して二ホンジカの移動を妨げない防護柵設置方法（ブロックディフェンス）を考案・設置した結果、シカの防護柵への干渉が減少し、植栽木への被害や管理コストの低減が図られるなど、一定の防除効果が確認されたとの発表がありました。

審査員からは、効果の認められる設置方法であり、今後の課題として挙げられた、“効果を最大化させるための検証”についても、大いに期待がもてるという点が高く評価されました。



森林保全部門
最優秀賞 小川さん

(次号へ続く)

使える!

行政情報&研究・技術の参考情報

森林・林業に関して役立つ行政の情報や研究技術情報を紹介しています。

木材の供給調整とは?

国有林では、民有林担当者や木材加工・流通の関係者、学識経験者等を委員として構成した「国有林材供給調整検討委員会」を設置しており、四半期に一度、会議を開催しています。

本委員会では地域の木材価格や需要動向の把握を行っており、需要が激しく増減する場合などは必要に応じて国有林からの木材供給量を調整することがあります。

では、なぜ供給量を調整する必要があるのでしょうか。これには木材価格の形成が関係します。

そもそも価格の形成は、需要と供給のバランスが重要です。供給過多になると価格は下落し、逆に過少であれば価格が上がります。その時々で価格が乱高下しては林業経営が困難です。経営を持続するには、木材価格の適正・安定化が必要不可欠であり、需給バランスの均衡が重要です。

国有林は木材を供給する立場であり、政策的に供給できる優位性があります。特に東北では森林蓄積量に占める国有林割合が高いため、需給の均衡が崩れた際、供給量を調整する役割として重要なポジションにあります。

令和2年度には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で木材需要が減退したため、供給過剰による価格下落を危惧し、国有林では立木販売の搬出期限を延長して供給調整を図りました。

なお、委員会の議論内容や検討結果は、当局ホームページで公表しています。



委員会の様子

委員会開催結果
(東北森林管理局HP)



ご関心のある方は、東北森林管理局資源活用課
(TEL:018-836-2123)へお問合せ下さい。

大規模木造建築に関する研究

平成22年に制定された「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が改正され、法の対象が公共建築物から建築物一般に拡大されるなど、木造で中大規模建築を建てる環境が整いつつあります。中大規模木造建築の普及を促進するためには使用される部材の開発に関する研究が必要であり、研究所では以前から関連する様々な研究に取り組んできました。その中のテーマの一つに薄物CLTの開発があります。この研究は、通常のCLTよりも薄い厚さ10~12mmのラミナを使ったCLT(写真)の開発と普及を目的とした研究で、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所等と共同で行ってきました。その曲げ性能、せん断性能等の基礎物性、床倍率の試算結果等、設計に必要な数値をまとめ、「国産スギ・ツバーフォー材を用いた複合部材の活用マニュアル (https://www.2x4assoc.or.jp/act/chosa/file/chousa_202105_2.pdf)」の中で公表しています。また、最近新たに取り組んでいるテーマに超厚合板の開発があります。これは、これまで製造されてきた構造用合板の最大厚さは28mm程度でしたが、これよりも厚い厚さ50mmから最大300mm程度の合板を開発し、中大規模木造建築に利用することを目的とした研究であり、令和元年度より日本合板工業組合連合会・森林総合研究所が中心となりその試作および性能評価試験事業を行っています。



写真 薄物CLT 上:3層プライ30mm、
中:同36mm、右:5層5プライ50mm

ご関心のある方は、秋田県立大学木材高度加工研究所
(TEL:0185-52-6900)へお問合せ下さい。

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」として
働く人の紹介です。

山を豊かにする林業を目指して

秋田

秋田県素材生産流通協同組合
有限会社エフ・ジー 笹嶋 貴洋さん

私は、入社して二年目になりますが、入社するまで林業に対する関心がほとんど無く、自分がこの道に進むとは思っていませんでした。知識もなく林業に従事したこともあり、最初の頃は、何をやっても上手くいかず、大変なことばかりでしたが、いつの間にか『林業ほど楽しい仕事はない』と思えるようになりました。

あらゆる仕事をこなせるようにという会社の方針から、入社以来、色々な免許や資格を取らせてもらいました。また、林業作業士を育成するフォレストワーカー研修でもたくさんの知識や資格を得ることができています。



植えるだけでなく伐倒も

現在の仕事は主に下刈りや植付け等の造林業をすることが多いです。山の広さに圧倒されますが仕事をやり遂げた時の達成感や風の気持ち良さ、景色の美しさは言葉に言い表すことができません。どの作業も奥が深く、先輩や同僚に相談しながら仕事を覚えていくのも楽しみの一つです。

また、今年も地元中学校の二年生三名を職場体験として受け入れ、一緒に植付け作業をしました。植えた後の苗木が抜けないか一本一本確認しながら丁寧に作業してもらいました。

今はこの仕事が天職だと思っています。職場体験をした学生が林業従事者の仲間となる事を楽しみにしています。

ニホンジカ被害地の最前線から

岩手

岩手南部森林管理署遠野支署 附馬牛森林事務所
森林官 神 克彦さん

当事務所は、岩手県南東部の遠野市に位置し、約12,000haの国有林を管理しています。

管内には日本百名山に数えられる早池峰山の一部が所在し、希少な高山植物の開花時期や紅葉シーズンには多くの登山者で賑わっています。

また、一級河川猿ヶ石川上流にある溪谷の重湍ちゅうたんも紅葉の名所として知られており、遠野市の遠野遺産認定調査委員会において「遠野遺産」に認定されています。

森林官の主な仕事は、森林内の樹種・木の高さ・太さ等を計測する「収穫調査」、国有地と民有地との境界を管理する「境界巡視」等が挙げられます。そのほかにも地域と国有林との窓口としての役目を担うなど、業務内容は多岐にわたります。また、遠野ではニホンジカによる森林の被害が地域全体の課題となっており、遠野支署ではその対策として、早池峰山にシカによる食害から保護するためのネット（植生保護柵）を設置し、希少な高山植物を保護する取組等を行っています。



植生保護柵設置後にみんなで（一番右が筆者）

私は森林官という職業に興味を持ち、林野庁に就職しました。自然の中での仕事は体力的に辛く感じることもありますが、森林づくりの最前線に携われるというやりがいのある職場です。国土を保全し希少動植物が住みやすい、健全な森林を育てていきたいと思っています。

3月中旬

特別展「南部鉄器展－受け継がれる技と美－」

3月3日(日)～3月23日(土)
現役の南部鉄器職人が令和6年度までに制作した作品を中心に展示
(岩手県/もりおか歴史文化館)

風間浦鮫鯨感謝祭

3月9日(土)
鮫鯨鮓を味わうチャンス！鮫鯨汁の販売、鮫鯨吊るし切り実演も
(青森県/風間浦村産業建設課)

雪の鎌倉森をめざす

3月9日(土)
残雪時期しか登れない冬山登山体験
(岩手県/網張ビジターセンター)

しずくいし春の工房まつり

3月9日(土)～3月17日(日)
雫石町を拠点に活動する工房の作品を一堂に集め展示販売
(岩手県/雫石町観光物産センター)

奏でるWaza展

3月15日(金)～3月17日(日)
県内に住む新進気鋭の工芸作家の作品を一堂展示
(宮城県/道の駅「村田」物産交流センター)

うめみナイト2024

3月15日(金)～3月31日(日)
梅園にある約60種125本の梅が見ごろを迎える
(宮城県/せんだい農業園芸センター)

セリオンあおぞら市

3月16日(土)～3月17日(日)
屋内緑地公園「セリオンリスタ」にてフリーマーケットを開催
(秋田県/道の駅あきた港ポートタワーセリオン)

第28回おおくら雪ものがたり

3月16日(土)
冬の花火大会や幻想雪回廊、巨大雪だるまもお目見えする
(山形県/おおくら雪ものがたり実行委員会)

春の久渡寺山登山

3月17日(日)
春のかた雪を踏んで久渡寺山の山頂まで
(青森県/弘前市みどりの協会)

みちのくPARKトレイルラン2024

3月17日(日)
みちのく公園の里山で開催。みんなで緑豊かな里山を駆け抜けよう！
(宮城県/日本スポーツ推進協会)

大館郷土博物館 おひなさま展

～3月20日(水)
各種おひなさまなど、約1,000点をピックアップして展示
(秋田県/大館市)

3月下旬

企画展「漁師さん展」

～3月31日(日)
漁師を身近に感じるためにインタビューや仕事内容を紹介
(青森県/青森県営浅虫水族館)

ひな人形展

～3月31日(日)
ひな人形展と同時開催で江戸時代の櫛・かんざし・印籠などを展示
(宮城県/旧有備館および庭園)

阿武隈ライン舟下り－こたつ舟－

～3月31日(日)
阿武隈川をこたつに入ってあったか舟下り、鍋もセットで楽しめる
(宮城県/(一財)丸森町観光物産振興公社)

木工体験 巣箱・餌台

3月23日(土)
随時体験できる様々な木工体験メニューを準備
(岩手県/岩手県県民の森木材工芸センター)

鉄道おもちゃで遊ぼう！！

3月23日(土)～4月7日(日)
新登場の小田急ロマンスカーや寝台特急カシオペアの他に定番も
(秋田県/ワンダーキャッスル)

春蘭展

3月23日(土)～3月17日(日)
町内外の春蘭愛好家の作品を多数展示
(宮城県/道の駅「村田」物産交流センター)

大江のひなまつり

3月29日(金)～3月31日(日)
最上川舟運を語る時代雑を趣きのある建物の中で堪能できる
(山形県/大江町観光物産協会)

谷地ひなまつり

3月30日(土)～3月31日(日)
時代雑の一般公開や、秋葉神社でのひな供養、人形製作実演など
(山形県/谷地ひなまつり実行委員会)

4月上旬

第30回鶴岡雛物語

～4月7日(日)
代々受け継がれた雛人形や雛道具を市内各所で展示・公開
(山形県/鶴岡市)

春の花泉互市

4月1日(月)～4月3日(水)
藩政時代の物々交換が始まりといわれる伝統ある市
(岩手県/花泉中央振興商店街協同組合)

酒田日和山桜まつり

4月5日(金)～4月14日(日)
ソメイヨシノなど約400本の桜が咲き誇る
(山形県/酒田市)

鹿島台互市(春)

4月10日(水)～4月12日(金)
約200の露店が出店する東北最大級の規模を誇る伝統の市
(宮城県/大崎市鹿島台)

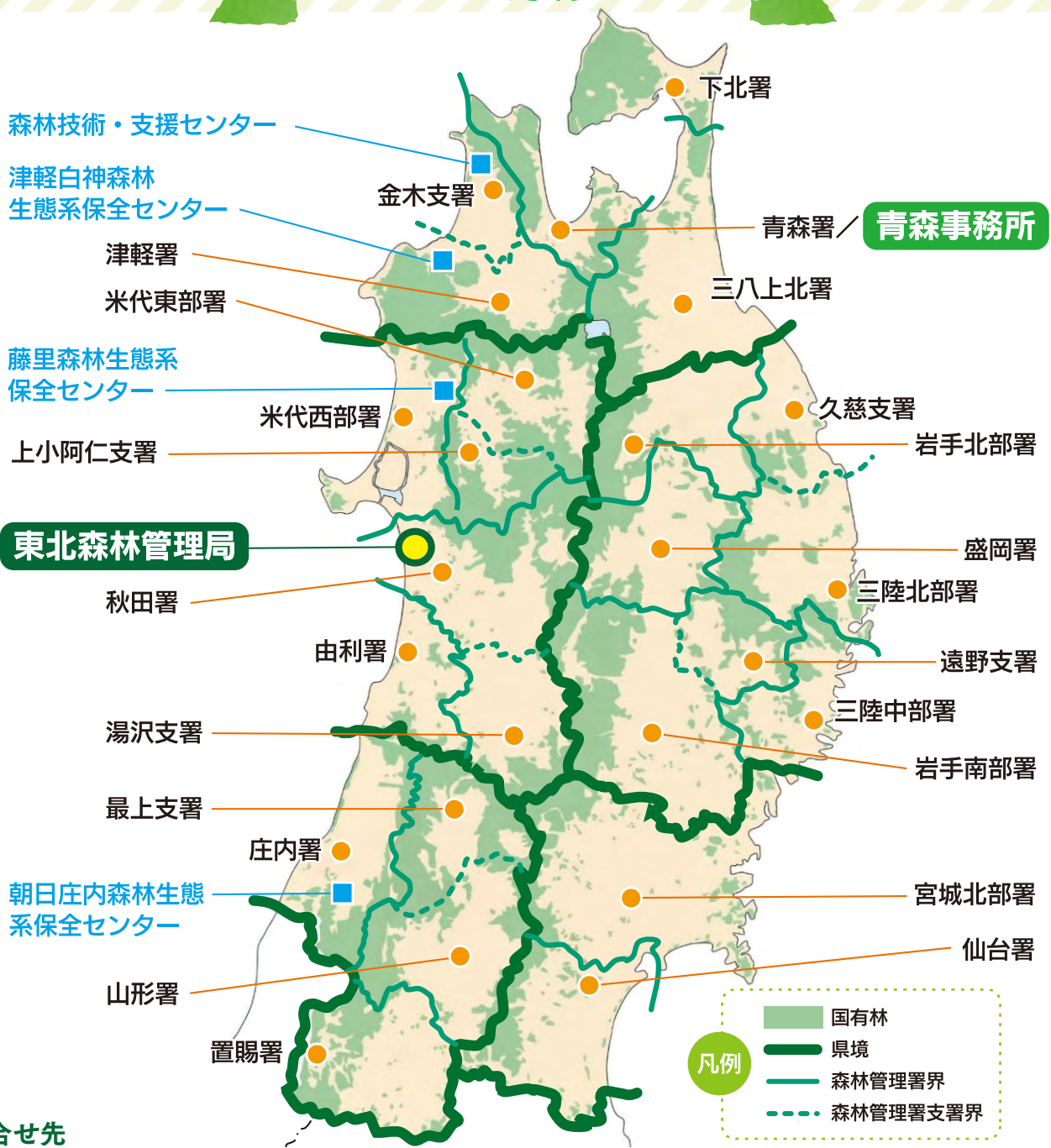
中山河川公園桜まつり

4月上旬
春の一日を心豊かに過ごすにふさわしい、桜の名所
(山形県/遊佐町)

※掲載内容は、新型コロナウイルス感染状況や天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。
また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074			
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800		仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111			
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115	秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130			
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131		上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422			
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131		米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511			
三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551	秋田署		秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311				
津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931	湯沢支署		湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164				
岩手県	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里亀山540-8	☎0173-57-9022	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076	山形県	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331		山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122		置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730				
	三陸中部署	大船渡市盛町字宇津野沢7-5	☎0192-26-2161							
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001							
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131							
	遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670							

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.240

●発行日/令和6年3月 ●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。